



緑の風



保呂羽でピース！

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

秋田では、体験学習・出前授業ができています

報道では、首都圏を中心に新型コロナの感染拡大が再燃し、ようやく再開した学校でも職員や小・中学生の感染による再度の臨時休校が出てきています。ウィズ・コロナによる学校での新しい生活様式は、まだまだ継続が必要なようです。そんな中、本校では、開催を縮小したり延期したりしていた学校の行事や、外部の先生をお招きしての授業が少しできましたので、お知らせします。

5年生・保呂羽山自然体験学習



計画では、高梨小学校と合同で、1泊2日で実施する予定でしたが、本校単独で実施しました。前日からの強い雨で、朝には現地に向かうことも心配しましたが、天気予報の雨雲の動きや自然の家スタッフとの協議をして、実施できることになりました。そして、午前はカヌー体験。午後からはプロジェクトアドベンチャーという仲間と協力して楽しむプログラムを体験しました。



カヌーをする池までは、40分ほど山道を歩きます。この往復が、きつい人にはきつい！でも、ようやくたどり着いた池では、赤腹のイモリもお出迎えしてくれました。始めは、パドルの使い方にとまどいながらも、だんだん上手になって大きな池を自由に進んでいくことができました。それから、山道をまた歩いて到着した自然の家の昼食は、ハンバーグチャーハン。おいしすぎて笑顔が止まりません。



午後からは、全員が1枚の大きな板に乗ってバランスをとるアドベンチャーなどで、仲間との絆を深めました。笑顔が満開、楽しさ100%の体験ができて、帰りのバスでは、ぐっすり爆睡だったようです。よかったよかった。自然体験って、素晴らしいですね。





6年生・「星宮遺跡」出前授業

昨年もお願ひした、市教育委員会・文化財課の出前授業ができました。6年生の社会科の勉強として、縄文時代や弥生時代のくらしについて学ぶものです。文化財課の『星宮さん』から『星宮遺跡』について教えていただきました。

まずは、なんとと言っても、秋田県有形指定文化財である「星宮遺跡の遮光器土偶」についてです。今から25年程前の発掘で発見されました。約2800年前のもので縄文時代の終わり頃のものとしてされています。この時代から、ここ横堀では田んぼがあり、人々の営みもずっと続いてきていることに、改めて感動します。

授業では、おそろおそろではありましたが、たくさんの土器を手にとって、繊細な模様や焼いた跡を詳しく見る事ができました。

仙北地域には、平安時代の払田の柵や、明治の旧池田氏庭園など、たくさんの歴史的な財産があります。これらの“ふるさとの宝物”を実際に学べる機会がある幸せを感じながら、未来につながる学びを実感していきたいものです。



今年初めのPTA

7月10日（金）には、ようやくPTA学習参観が実施できます。お知らせとお願ひをしておけるとおり、マスクの着用やソーシャルディスタンスを保つなど、様々な制約がある中ではありますが、できることに感謝して、ご協力をよろしくお願ひいたします。

全体会の時間も短縮しますので、少し物足りなさを感じるかもしれませんが、学年懇談では、新しい担任の先生と、じっくりとお話ができることを願っています。

校長からのお話の時間も削減しますので、ご説明したいことや、今後話題にしたい視点について触れさせていただきます。

1 コロナ対応について

①授業の進み具合・・・およそ計画に近い進み具合ですが、学年や教科によっては夏休み以降に残す勉強もあります。

②学校行事・・・現段階の変更した予定を来週にはお届けします。運動会や学習発表会も、内容を削減しながら実施します。修学旅行は、現段階では岩手県への変更を考えています。

2 夏休みのくらしについて

①家庭の家庭学習・・・ドリルの選択へのご協力ありがとうございました。これまでは、学校で与えていましたが、「家庭の学習は家庭でも責任をもつこと」を意識して、あえてご難儀をおかけしたところ。「うちの子には、どれがいいのか」と考えて、長期の休みを意識してくださり、ありがとうございました。

②SNS等の利用・・・代表委員会でも取り上げ、学級でも夏休み前に指導していきます。学校でも大まかな約束は目安としてお示ししますが、ご家庭でルールを決めることと、決めたルールを守ることは、今後の子どもの成長に大きく関わるものです。SNS等をきっかけにして、今こそ、しっかりと新しいスイッチを入れましょう。

